

日本気象学会および関連学会行事予定

行事名	開催年月日	主催団体等	場所	備考
40周年記念 レーダ気象会議	1987年11月9日 ～13日	NSF, NASA, NOAA, 他	アメリカ, ポストン	Vol. 34, No. 4
環境科学シンポジウム	昭和62年11月25日 ～27日	環境科学シンポジウム 実行委員会	東京虎ノ門パストラル	Vol. 34, No. 8
Second Inter-American Meteorological Congress and CONGREMET V	1987年11月30日 ～12月4日	アメリカ気象学会, 他	アルゼンチン, ブエノス ・アイレス	Vol. 34, No. 5
第34回風に関するシンポ ジウム	昭和62年12月1日	土木学会, 日本気象学会, 他	土木学会土木図書館	Vol. 34, No. 6
月例会「レーダー気象」	昭和62年12月1日		気象庁	Vol. 34, No. 7
第10回極域気水圏シンポ ジウム	昭和62年12月8日 ～9日		国立極地研究所	Vol. 34, No. 8
半乾燥地域における対流 性降雨に関するシンポジ ウム	1987年12月14日 ～18日	アメリカ気象学会, 他	イスラエル, イェルサレ ム	Vol. 34, No. 4
Tropical Micro-Metero- logy and Air Pollution 国際研究集会	1988年2月15日 ～19日		イード, ニューデリー	Vol. 34, No. 4
日本気象学会 昭和63年度春季大会	昭和63年5月18日 ～20日	日本気象学会	柏市市民文化会館・勤労 会館	
第12回レーザセンシング シンポジウム	1988年5月27日 ～28日	レーザ・レーダ研究会 シンポジウム実行委員会	岡山市・桃花苑	Vol. 34, No. 10
Scale Modeling 国際シ ンポジウム	1988年7月18日 ～22日		東京	Vol. 34, No. 6
国際シンポジウム第3回 流れのモデル精度向上化	昭和63年7月26日 ～28日	同組織委員会, 他	日本都市センター	
第27回 COSPAR 総会	1988年7月18日 ～29日	宇宙空間研究委員会 (COSPAR)	フィンランド, ヘルシン キおよびエスプー	
国際オゾン・シンポジウ ム	1988年8月8日 ～13日	IAMAP オゾン委員会	西ドイツ, ゲッティンゲン (ゲッティンゲン大学)	Vol. 34, No. 1
国際放射シンポジウム	1988年8月18日 ～24日	IAMAP 放射委員会	フランス, リール	Vol. 34, No. 1
The 2nd International conference on Atmospher- ic sciences and Applica- tions to Air Quality	1988年10月3日 ～7日	同国際組織委員会 国内組織委員会	日本学術会議	Vol. 34, No. 9

編集後記：今年はや頭からエルニーニョ現象が取沙汰され、4月のひまわり画像を見ても西太平洋の積乱雲の量が例年は比ぶ少なくなっています。その影響か今秋は残暑と呼べるものがほとんど見られないまま米の収穫シーズンを迎えました。この不順な天候のもとで凶作にもならず、ますますの収量を得たことに農業技術の進歩を感じます。

さて、本号は、LAWS, 晴天乱気流, 下降流突風と比較的小さなスケールの風を取り扱った論文が並びました。いずれも航空機の運航や日常生活に大きな危険をもたらす現象です。このような現象を把握するためにはド

ップラーレーダーやプロファイラー等の新測器の導入もさておき、利害を共にする関係諸機関の協力が円滑になされることが重要であることを再認識させられました。また、手前みそながら本年度から毎時観測に移行したひまわり画像がこれらの現象の背景を理解する一助となると思いますので進んで利用されたいかがでしょうか。

最後に、今月号から学会関連行事の一覧に個別の行事の詳細記事の掲載号数が追加されています。読者の皆様のちょっとした工夫で「天気」の利用価値が高められますのでどんな小さなアイデアでも結構ですから当編集委員会へお寄せ下さい。(義)